

# 「陸上競技(リレー走)」

挑戦問題

『目指せ世界一のリレー!』

**本単元で育成する資質・能力**

挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

## 期待される生徒の変容

リオ五輪男子400mリレーでの日本代表チームの活躍をみて、銀メダルを獲得した日本代表チームを誇りとし、お家芸であるバトンパスの向上に挑戦する。リオ五輪のビデオや仲間の走りを見て、情報を収集しながら、バトンパスについて知識・技能の育成をはかる。活動の中でチーム内で意見を交わし、仲間と協力・協働することでチーム力・バトンパス技能を高め、全員で挑戦問題クリアに向けて取り組み、運動会で観客を魅了する。

## 平成30年度の取組より

### Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・ チームワークが大切なので、そこを意識して頑張っていきたい。(3年生)
- ・ 日本チームの走りを見て、バトンパスがすごいと感じた。挑戦問題「目指せ世界一のリレー」はできるのかなと思った。(1年生)
- ・ 4つのポイントができるのか、少し不安です。(2年生)
- ・ アンダーハンドパスって難しそう。(1年生)
- ・ リレーはチーム全員が全力を出さないといけないから大変だなと思います。(3年生)



### After 【振り返り】

- ・ バトンパスを成功するためにこんなに悩まなければいけないのかと3年生の立場になって初めてわかりました。3年生はリレーが苦手だったため、2年生の女子からリレーの走順などを提案してもらった。2年生に感謝です。教えることの大変さも実感しました。(3年生)
- ・ 毎年、バトンパスを上手にすることだけで精一杯だったけど今年はテークオーバーゾーンを有効に使うことにチャレンジしました。最初はうまくいかなかったけど、前の走者がどの辺でスタートすれば良いかを考えてするとうまくできるようになりました。(3年生)
- ・ どの走順が速くて美しくバトンパスできるのかチームのみんなが話し合った。最初は「嫌だ」「足が痛い」と言っていた1年生が本番でよく頑張ってくれた。感謝した。(3年生)
- ・ 2年生の自覚を持つことができました。3年生から教えてもらったこと、自分で発見したことを1年生に教えないといけないと言うことを実践しました。(2年生)
- ・ バトンパスの重要性を本番で知りました。すこしタイミングがずれて、タイムロスが出てしまい、それが原因で最終的に少しの差で3位になってしまいました。練習の時はうまくいっていても本番では何が起こるかわからないと言うことを学びました。(2年生)
- ・ バトン渡しがいまいち不安でした。先輩が声をかけてくれて、一緒に渡し方を考えてくれて嬉しかったです。ノールックですることとても難しかったけど練習を重ねるとできるようになりました。(1年生)
- ・ バトンパスで順位が変わると言われたので、タイミングが合うまで何回も練習しました。協力することの大切さを知りました。(1年生)
- ・ 私は走り出してすぐ手を出す癖があったので、上手な先輩を見本にして、タイミング良く手が出せるように頑張りました。来年は新しく知った上達するための4つのポイントを完璧にできるよう死にたいです。(1年生)



## 平成31年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・ 全生徒の統一理解のために、各団で授業を行った。1年生にとっては新しいことへの挑戦、2年生にとっては上級生として、3年生にとっては最上級生として責任の意識を高める意味でこの授業は有意義であった。ただ1年生に強く意識づけるには単独での授業が良いかもしれない。
- ・ 美しくするためのポイントとしてノールック、アンダーハンドパス、テークオーバーゾーン有効利用、タイミングの良い受け渡しをポイントにした。このポイントは継続して指導していきたい。